

新学習指導要領に対応した課題解決型学習をいかに展開するか

人口減少などの地域課題へいかに対応するか

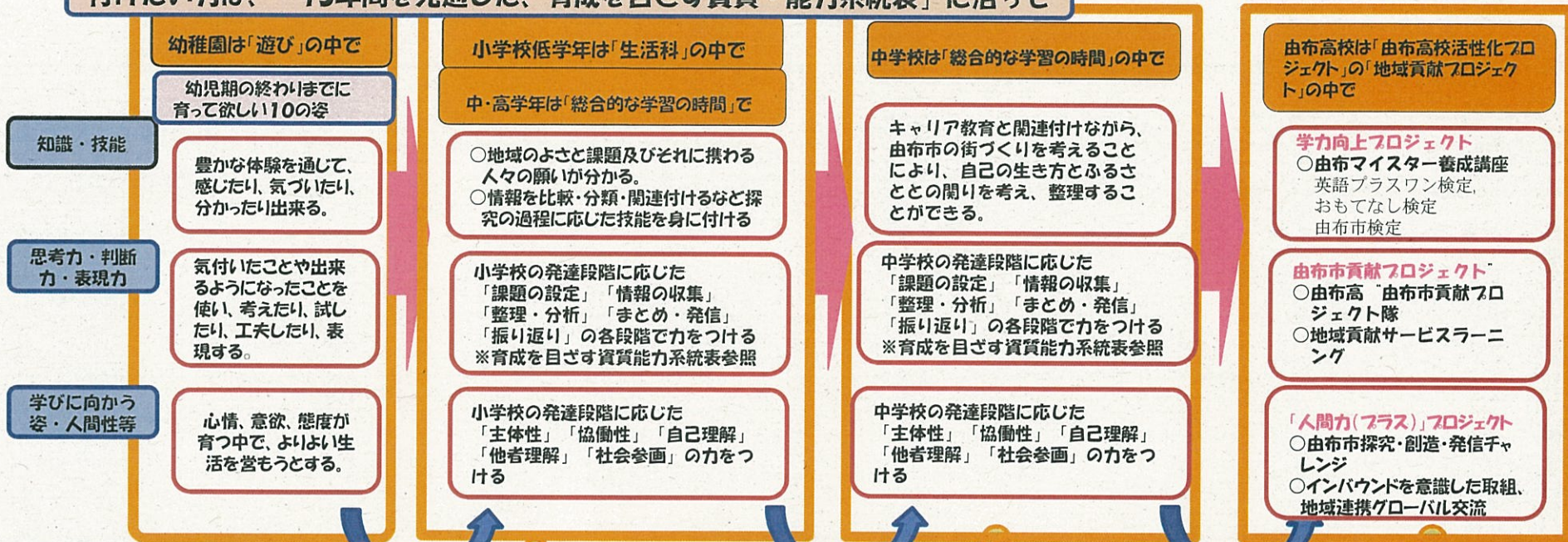
校種間の連携をいかに図るか

# 「由布学」

～由布の「ひと」・「もの」・「こと」を題材に、課題解決型学習を展開する、幼・小・中・高13年間の学び～

「由布市の魅力を情報発信できる地域のリーダーとして、地域に貢献できる自立した“由布の人”」

付きたい力は、「13年間を見通した、育成を旨とする資質・能力系統表」に沿って



**校種間の連携の取組**

**保・幼・小連携協議会**


- 年3回の保・幼・小連携協議会開催
- 年1回の保・幼・小合同研修

**小・中連携協議会**

- 年3回の小・中連携協議会の開催
- 家庭学習の連携
- 小学校6年生についての中学校との連絡会
- 小学校6年生の中学校訪問 等

**中・高一貫教育**

- 由布学班の取組
- 学力向上班の取組
- リーダー育成班の取組
- 進路指導班の取組



**コミュニティスクールとの連携**

- ・「校区ごとの人材バンク」の作成
- ・校区の「ひと」「こと」「もの」マップ作成
- ・職場訪問のコーディネート 等

○ふるさとと自己の関りを考えることのできる人づくり

○新学習指導要領の3つの資質・能力を身に付けた子ども育て

○13年間を見通した由布市型連携教育の実践

○由布高校の振興 等

**由布市としての支援**

- 校区コーディネーター・地域人材活用推進委員の活用
- 「由布の学び検定」の開催
- 由布高校振興協議会の支援
- 由布高校振興大会の開催
- 由布市役所各課の支援
- 市議会、自治委員会への協力要請 等